



# 週間情報



No.2942

発行日 平成29年10月31日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 全国消防長会役員会を開催

#### 全国消防長会

平成29年10月26日（木）、さいたま市（ホテルブリランテ武蔵野）において、全国消防長会役員会を開催しました。

役員会における議案審議及び報告事項については次のとおりです。

#### 【議案審議】

- 1 平成30年度消防財源の確保について
- 2 平成29年度収支予算の補正（案）について
- 3 全国消防長会役員改選割当数の算定基準及び規約の一部改正について
- 4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会委員の追加について
- 5 第41回全国消防職員意見発表会の開催及び実施要領について
- 6 次期役員会の開催について

#### 【報告事項】

- 1 平成30年度国の予算概算要求等における措置状況について
- 2 自治体消防制度70周年記念事業の動向等について
- 3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会の動向等について
- 4 「第21回日本臨床救急医学会総会・学術集会」の開催概要について
- 5 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 6 法制執務研修会及び広報事務担当者研修会について
- 7 予防技術検定受験準備自主講習支援事業の概要について
- 8 第47回全国消防救助技術大会の日程等について
- 9 防災推進国民大会2017の日程等について
- 10 メキシコ地震災害に係る国際消防救助隊の派遣について

#### 【配布資料】

- 1 市町村の消防の広域化の進捗状況等について
- 2 消防指令業務の共同運用の状況等について
- 3 一般財団法人全国消防協会の消防団体保険について

#### 【消防庁長官講話】

「消防行政における現状と課題」 消防庁長官 稲山 博司 氏

#### 【消防庁見解】

「最近の消防行政をめぐる動向」 消防庁総務課長 小宮 大一郎 氏



【役員会の様子】

## ◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

平成29年10月26日（木）、さいたま市（ホテルブリランテ武蔵野）において、全国消防長会常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議、報告事項及び配布資料については次のとおりです。

### 【議案審議】

- 1 平成30年度消防財源の確保について
- 2 平成29年度収支予算の補正（案）について
- 3 全国消防長会役員改選割当数の算定基準及び規約の一部改正について
- 4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会委員の追加について
- 5 第41回全国消防職員意見発表会の開催及び実施要領について
- 6 次期常任理事会の開催について
- 7 次期役員会の開催について

### 【報告事項】

役員会と同内容のため省略

### 【配布資料】

役員会と同内容のため省略



【常任理事会の様子】

## ◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会を開催

全国消防長会

平成29年10月26日（木）、さいたま市（ホテルブリランテ武蔵野）において、全国消防長会東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会を開催しました。

特別委員会における報告事項については次のとおりです。

### 【報告事項】

- 1 各作業部会の開催結果について
  - (1) ラグビー作業部会の開催結果について（全国消防長会）
  - (2) オリパラ作業部会の開催結果について（東京消防庁）
- 2 総務省消防庁からの情報提供について
- 3 今後のスケジュール等について

### 【配布資料】

- 1 東京2020大会ガイドブック
- 2 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会消防対策協議会」及び「ラグビーワールドカップ2019消防対策協議会」の設置について



【特別委員会の様子】

## ◆ 国際消防救助隊の活動報告会を開催

### 全国消防長会

平成29年10月26日（木）、さいたま市（ホテルブリランテ武蔵野）において、平成29年9月20日（水）、メキシコ合衆国において発生した地震災害に派遣された国際消防救助隊の活動報告会を開催し、東京消防庁警防部特殊災害課長の木下修氏が説明を行いました。

#### 1 派遣概要

平成29年9月20日（水）3時14分頃（現地時間19日13時14分頃）、メキシコ合衆国でマグニチュード7.1の強い地震が発生した。

本地震災害に伴い、同国政府からの要請を受けた外務省の派遣協議を受け、総務省消防庁長官が国際消防救助隊の派遣を決定し、17名の隊員（総務省消防庁職員1名含む）が派遣された。

#### 2 派遣期間

平成29年9月21日（木）から同年9月28日（木）まで（8日間）

#### 3 地震概要

##### (1) 震源地

メキシコ合衆国メキシコシティの南東120km

##### (2) 震源の規模及び深さ

マグニチュード7.1 深さ57km

##### (3) 人的被害等

死者333名 負傷者1,200名以上（メキシコ内務省市民保護局発表）



【活動報告会の様子】

◆ 国際消防救助隊派遣者に対する消防活動功労者表彰を実施

全国消防長会

平成29年10月26日（木）、さいたま市（ホテルブリランテ武蔵野）において開催された全国消防長会役員会の中で、平成29年9月20日（水）、メキシコ合衆国において発生した地震災害に際し、国際消防救助隊として派遣された16名に対し、積極果敢な救助活動により、我が国消防の威信を高めた功労として、全国消防長会会長による消防活動功労者表彰が執り行われました。

【受賞者一覧】

消防本部（局）	担当	階級	氏名
仙台市消防局	小隊長	消防司令	ひらつか かずひろ 平塚 一広
	救助隊員	消防司令補	ささ しんや 佐々 伸也
	救助隊員	消防司令補	いわさ おさむ 岩佐 治
朝霞地区一部事務組合 埼玉県南西部消防本部	救助隊員	消防司令補	ひらい こうすけ 平井 康介
東京消防庁	中隊長	消防司令長	きのした おさむ 木下 修
	小隊長	消防司令	よだ つぐお 依田 次生
	中隊長サポート	消防司令補	あさみ けんいち 浅見 賢一
	救助隊員	消防司令補	こばやし ひろかず 小林 弘和
	救助隊員	消防司令補	さいとう まなぶ 齊藤 学
	救助隊員	消防司令補	たばた けんじ 田端 健二
京都市消防局	救助隊員	消防司令補	たけなか りゅうご 竹中 龍悟
	救助隊員	消防司令補	きまた ともゆき 木俣 智行
	救助隊員	消防司令補	なかがわ かずまさ 中川 和将
和歌山市消防局	救助隊員	消防司令補	かじもと あつし 梶本 敦司
豊中市消防局	救助隊員	消防士長	おぐら ひろき 小椋 弘樹
高知市消防局	救助隊員	消防士長	あさかわ たいち 浅川 太智



【表彰式の様子】



【記念撮影の様子】

## ◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催

### 一般財団法人全国消防協会

平成29年10月26日（木）、さいたま市（ホテルブリランテ武蔵野）において、一般財団法人全国消防協会通常理事会・臨時評議員会を開催しました。

通常理事会・臨時評議員会における議案審議及び報告事項については次のとおりです。

#### ○ 通常理事会

##### 【議案審議】

- 1 平成29年度収支予算の補正（案）について
- 2 全国消防救助技術大会実施計画の改正（案）について
- 3 臨時評議員会の開催について
- 4 賛助会員の加入について

##### 【報告事項】

- 1 次期通常理事会の開催について
- 2 平成30年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 3 第47回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 5 自治体消防制度70周年記念事業の動向等について
- 6 グループ保険（生命保険）の退職後継続年齢の引き上げについて

#### ○ 臨時評議員会

##### 【議案審議】

- 1 平成29年度収支予算の補正（案）について
- 2 全国消防救助技術大会実施計画の改正（案）について

##### 【報告事項】

- 1 臨時評議員会の開催について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 平成30年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 4 第47回全国消防救助技術大会の日程等について
- 5 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について
- 6 自治体消防制度70周年記念事業の動向等について
- 7 グループ保険（生命保険）の退職後継続年齢の引き上げについて



【通常理事会・臨時評議員会の様子】

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 秋季高齢者宅防火訪問を実施

熱海市消防本部では、平成29年10月15日（日）、熱海市網代地区において、民生児童委員、消防団女性消防部及び消防本部予防室職員が合同で、秋季高齢者宅防火訪問を実施しました。

防火訪問は、70歳以上の高齢者宅を対象に、コンロ等の状況、家具類の固定、住宅用火災警報器の設置・維持管理・動作確認等を調査しました。住宅用火災警報器希望者（購入済みであるが、取り付け方法がわからないなど）には、その場で設置し、「とても安心しました」等の言葉を頂き、設置率の向上と維持管理の普及を図ることが出来ました。

#### 熱海市消防本部（静岡）



【防火訪問の様子】

#### ◆ 「第56回安城市初期消火競技会」を開催

衣浦東部広域連合消防局安城消防署では、平成29年10月17日（火）、安城市防火危険物安全協会主催で「第56回安城市初期消火競技会」を開催しました。

本競技会は、不意の火災及び地震に備えて、安全・確実・迅速な初期消火技術を習得するとともに、事業所の防火体制の強化と防火意識の普及高揚を図ることを目的として毎年開催しているものです。

競技は、水消火器や水バケツによる初期消火、屋内消火栓設備の正確な取扱い、傷病者を徒手搬送にて搬送する等の安全性及び迅速性を競うもので、17事業所37チームの68名が参加され、日頃積み重ねた訓練の成果を発揮されました。

参加者には、初期消火技術の習得だけでなく、職場での防災リーダーとして活躍して頂けることを期待しています。

#### 衣浦東部広域連合消防局（愛知）



【競技会の様子】

◆ 千葉市消防航空隊とのヘリ連携合同山岳救助訓練を実施

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部（千葉）

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部では、平成29年10月12日（木）、管内の里山において、千葉市消防航空隊とのヘリ連携合同山岳救助訓練を実施しました。

本訓練は、「登山中のハイカーが山道から約40mの崖下に滑落した」との想定で、当消防本部救助隊による山岳救助資器材を活用した要救助者引揚げ救出実施後、さらに搬送困難現場のため消防防災ヘリを要請し、千葉市消防航空隊との合同吊上げ救助訓練を実施するというもので、地上と上空との連携活動要領を確認しました。

近年では、当管内においてもハイカー、登山者等の人口増加が顕著となっており、それに伴う救助事故の増加を踏まえ、消防防災ヘリとの連携救助が必要とされることから、今後も更なる訓練を重ね、知識・技術の向上と連携強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

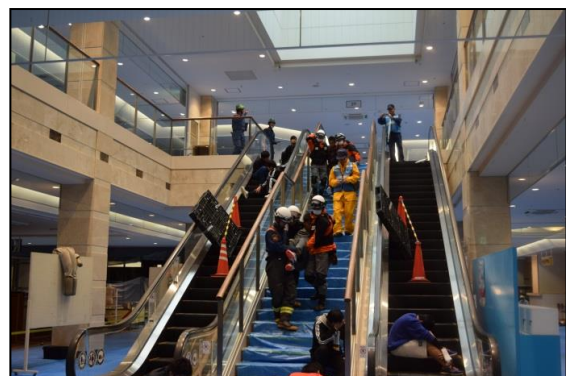
◆ 四県消防本部等大型商業施設多数傷病者対応合同訓練を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、平成29年10月13日（金）、市内の大型商業施設（アゼリアモール館林）において、消防及び救急活動の対応能力の向上と関係機関の連携強化を目的とした多数傷病者発生事故対応訓練を実施しました。

本訓練には、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城県）、佐野市消防本部（栃木県）、埼玉東部消防組合消防局（埼玉県）、羽生市消防本部（埼玉県）、川口市消防局（埼玉県）、群馬DMAT（館林厚生病院、太田記念病院）、太田医療技術専門学校、館林高等看護学院と、施設を提供していただいたアゼリアモール館林の10機関が参加しました。

訓練想定は、大型商業施設内の天井設備が崩落する事故により、多数の負傷者が発生、消防活動が困難を極めると判断されることから、隣接する消防相互応援協定締結消防本部及び群馬DMATへ応援要請をしたというものであり、相互間の協力のもと災害に対応するための有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

## ◆ 平成29年度救急総合想定訓練を実施

### 埼玉県中央広域消防本部（埼玉）

埼玉県中央広域消防本部では、平成29年10月10日（火）から13日（金）の4日間で、当消防本部救急隊全20隊を対象にアナフィラキシーショック（エピペン保有者）、意識障害、心肺停止、交通外傷の4想定を付与し、救急活動を評価する救急総合想定訓練を実施しました。

本訓練は、救急隊の現場対応能力の向上を目的として実施し、訓練終了後は、指導救命士が主体となり、活動に対してのフィードバックを行いました。

今年で2回目となる本訓練を今後も継続して実施することにより、現場対応能力の更なる向上が期待でき、地域貢献に繋がると考えます。



【訓練の様子】

## ◆ テロ災害対応訓練を実施

### 豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、平成29年10月13日（金）、豊橋市民球場にて豊川市消防本部、蒲郡市消防本部、新城市消防本部、田原市消防本部、豊橋警察署と合同で本市初となるテロ災害対応訓練を実施しました。

球場のスタンドでテロが発生、何者かが不審な液体をまき、多数の傷病者が発生しているとの通報で各機関が出動し、警察による不審者の確保、情報収集、周辺住民への広報活動、救助隊による陽圧式化学防護服を着装しての要救助者救出、除染隊による除染、救急隊による応急救護所でのトリアージ等の一連の活動訓練を、各参加機関が互いに情報共有及び連携を図りながら実施しました。

今回の訓練では、市単独の消防力では対応できないテロ災害の発生時における、消防相互応援協定に基づく近隣消防本部との連携強化、警察との連携及び協力体制の強化を促進することができ、有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】



## 研 修 等

### ◆ 消防職員の惨事ストレス対策セミナーを開催

#### 直方市消防本部（福岡）

直方市消防本部では、平成29年10月2日（月）、安全衛生の取り組みとして、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会の事業を活用し、公務災害防止セミナー「消防職員の惨事ストレス対策について」を開催しました。

講師に筑波大学人間総合科学研究科文学博士の松井豊教授を招いて、阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件などで消防職員が実際に惨事ストレスを発症した事例を交え、惨事ストレスとは何か、その分類、症状、対処法などについてご教示いただき、大変有意義な研修会となりました。

惨事ストレスを防ぐには、消防では特に「仲間との会話」が有効とのことで、普段からのコミュニケーションを大切にし、惨事ストレスの無い職場を目指していきます。



【研修会の様子】

### ◆ 救急特別研修会を開催

#### 尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、平成29年10月6日（金）、尼崎市防災センターにおいて、救急特別研修会を開催しました。

講師に医療法人協和会協和マリナホスピタルの院長（元兵庫医科大学地域救急医療学教授）である吉永和正先生をお招きし、「災害医療のある断面」と題して講演していただきました。

当局の消防職員98名をはじめ、兵庫県南東部の9市1町で構成する阪神地区消防長会の各消防本部からも68名が受講し、災害訓練の重要性、トリアージ・タッグ（黒タッグ）の課題、災害救助犬等について講演いただき、大変有意義な研修となりました。



【講演中の様子】



【吉永先生による講演】

## ◆ 火災対応研修を実施

### 相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局相模原消防署では、平成29年10月11日（水）から13日（金）の3日間、神奈川県消防学校において、火災対応研修を実施しました。

本研修では、マグネシウム火災の対応要領、非常用エレベーターの操作要領のほか、火災室において、実火災体験型の研修を実施し、火災性状及び注水・排煙要領の確認、輻射熱の体験などを実施しました。

また、火災室の研修では、信州大学繊維学部の若月准教授の研究チームが、室内の温度測定、防火服内の温湿度環境及び防火服・防火帽が受ける温度環境を測定することにより、火災室の環境変化と消火活動時における隊員の受熱量等について、より具体的な確認を行なっていました。

火災室での実践的な研修を実施することで、火災対応における基本的知識の習熟や技術の向上を図ることができました。



【研修の様子（温度・環境測定）】

## その他

### ◆ 第29回全国消防本部対抗駅伝大会の開催について

#### 東京消防庁（東京）

東京消防庁陸上競技部会では、全国の消防本部等の同好者との交流を図り、相互の理解を深め、今後の消防業務に資することを目的として、恒例の全国消防本部対抗駅伝競走大会を、下記のとおり開催いたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 1 大会名等

第29回全国消防本部対抗駅伝大会

#### 2 日時等

- (1) 平成30年2月3日（土）
- (2) 受付 11時00分（河川敷内スタート付近）
- (3) 開会式 12時00分（河川敷内スタート付近）
- (4) スタート 12時30分
- (5) 閉会式 15時30分（河川敷内スタート付近）

#### 3 競技実施方法

東京都江戸川区小松川一丁目荒川右岸河川敷付近（上流へ向かって走る周回コース）

（1区間5.0Km×5区間）

スタート・中継及びゴールは、荒川右岸河川敷、都営新宿線高架下南側付近となります。

※申し込み後にコース図等の案内をメール返信します。

#### 4 チーム編成

正選手5名、補欠2名、監督1名（監督は、選手を兼ねることが出来るものとします。）

各消防本部とも、男子チーム、女子チームともに1チームまでとします。

#### 5 申込み方法

##### (1) 大会申込書（選手名簿）の提出

所定の申込様式に必要事項を記入のうえ、メールにて送信してください。

※申し込み様式が必要の方は下記メールにその旨わかるように送信してください。  
様式を返信します。

##### (2) 申込み先

メールアドレス [suga.wara@ymp.ms246.net](mailto:suga.wara@ymp.ms246.net)

##### (3) 申込締切日

平成30年1月5日（金）※ 期限を厳守してください。

(4) 参加申込みをされた消防本部には、メールを返信しますので、1週間経過しても返信がない場合は、ファクス等により確認をお願いします。

6 参加料

1チーム 15,000円 (ナンバーカード代及び傷害保険代、自動計測委託費用を含む。)

7 表彰

(1) 団体賞

チーム単位とし、1位から3位までトロフィー、メダル、賞状、4位から10位まで楯、賞状を授与します。

(2) 個人賞

ア 各周回ごとの最高記録者に、区間賞を授与します。

イ 最優秀選手1名に、最優秀選手賞を授与します。

ウ 参加者全員に参加賞を贈呈します。

8 懇親会

希望者による懇親会を、当日17時00頃から開催いたします。

会場は別途連絡します。

9 その他

(1) 参加費及び懇親会費の振込みについて

ア 参加費・懇親会費は、東京消防信用組合本店・普通口座・口座名「陸上競技部会2」  
口座番号0515151 (東京都千代田区大手町1-3-5) に振込みをお願いします。  
振込み期限は、平成30年1月5日(金)としますので、期限を厳守してください。

郵便局以外の金融機関ならば、どちらからでも振り込み出来ます。

※振込み者名は消防本部名をお願いします。

イ 納入された参加料等は、準備の都合上、不参加の場合でも、一切返金致しかねますので  
予めご了承ください。

(2) ナンバーカード・たすきは、大会事務局で準備いたします。

(3) 問い合わせ等は担当の下記メールにてお願いします。

(4) 競技結果は現地で配布又は申し込み担当者へメール送信します。

**【連絡先】東京消防庁陸上競技部会**

担当者：菅原 孝幸 (すがわら たかゆき)

メール：suga.wara@ymp.ms246.net

F A X：045-743-6873

携帯電話：090-2239-3253

## 報道発表

### ◆ 11月1日に緊急地震速報の訓練を行います～訓練参加機関をお知らせします～

(10月25日、内閣府(防災担当、消防庁、気象庁))

11月5日の津波防災の日にちなみ、平成29年11月1日(水)に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。この度、訓練に参加する機関等を下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

#### 記

#### 1. 訓練の内容

平成29年11月1日(水)10時00分頃に、気象庁が訓練用の緊急地震速報※(以下「訓練報」といいます。)を配信します。訓練を実施する国の機関や地方公共団体、学校、民間企業等は、訓練報を受けて、防災行政無線、建物等の館内放送、専用受信端末などによる報知を行います。また、訓練の参加者は、訓練実施機関が行う緊急地震速報の報知にあわせて、安全な場所に移動するなどの身を守る行動訓練を行います。

また、訓練の方法には、上記のような訓練報を活用する方法以外にも、専用受信端末の訓練用機能を活用するもの、気象庁が提供する訓練用動画を利用するもの、スマートフォンの訓練用アプリを利用したものなどがあります。

訓練の詳細については、平成29年10月2日の気象庁報道発表資料を御覧ください。

([http://www.jma.go.jp/jma/press/1710/02a/20171002\\_eewkunren.html](http://www.jma.go.jp/jma/press/1710/02a/20171002_eewkunren.html))

※ 訓練報は、テレビやラジオ等の放送波、携帯電話(スマートフォンを含む)による一斉同報機能(緊急速報メール/エリアメール)では報知されませんが、一部の市区町村においては、訓練としてCATVやコミュニティFM放送、「登録制メール」による緊急地震速報の配信を行う場合があります。

#### 2. 訓練参加機関

緊急地震速報の訓練を実施する予定の機関等は次のとおりです(数字は10月23日現在)。

(1) 地方公共団体：全都道府県(47団体)及び全市町村(1,741団体)

このうち行動訓練や情報伝達訓練を実施する団体：1,120団体

1,120団体のうちJアラートを活用し住民への情報伝達手段を起動させる団体：793団体

(2) 国の機関の組織等：881組織等

(3) 緊急地震速報の訓練報を配信する事業者：10事業者

(4) 民間企業、各種団体等：763か所

※ 訓練参加機関の詳細は別紙を御参照ください。(別紙省略)

#### 3. 訓練に関する留意事項

- ・気象・地震活動の状況等によっては、訓練報の配信を急きょ中止する場合があります。なお、中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。
- ・気象庁からの訓練報を利用しない機関では、10時00分頃以外の任意の時間に訓練が実施される場合があります。

○全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291025\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291025_houdou_1.pdf))に掲載されています。

<連絡・問合せ先>

【緊急地震速報訓練 関係】

●緊急地震速報の訓練の内容に関する問合せ

気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室 池田、菅沼、田邊  
Tel 03-3212-8341 (内4666)

03-3211-8684 (直通) Fax 03-3212-2857

●国の機関等における訓練の実施に関する問合せ

内閣府政策統括官(防災担当)付

参事官(地方・訓練担当)付 安部、中野、宇都木

Tel 03-3503-9394 (直通) Fax 03-3502-6034

●地方公共団体の訓練の実施に関する問合せ

訓練全般に関して

消防庁国民保護・防災部防災課 震災対策係 木村、渡部

Tel 03-5253-7525 Fax 03-5253-7535

Jアラート等機器の動作に関して

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室 長崎、山田、佐々木、新堀

Tel 03-5253-7551 Fax 03-5253-7543

【津波防災の日 関係】

●津波防災の日に関連する地震・津波防災訓練等の取組状況に関する  
問合せ

内閣府政策統括官(防災担当)付

参事官(地方・訓練担当)付 安部、中野、宇都木

Tel 03-3503-9394 (直通) Fax 03-3502-6034

◆ **全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達訓練の実施(10月27日、消防庁)**

人工衛星及び地上回線を用いて瞬時に緊急情報を伝達する全国瞬時警報システム(Jアラート)に関し、緊急時における住民への迅速かつ確実な情報伝達に資するよう、内閣官房、消防庁及び地方公共団体が連携して、全国一斉に情報伝達訓練を実施します。

1 日時

平成29年11月14日(火) 11時00分

2 訓練内容

○内閣官房から試験放送の情報を配信

○都道府県・市区町村において、防災行政無線の自動放送等を実施

※防災行政無線からの自動放送等の内容は、次のとおり。

上り4音チャイム + 「これは、Jアラートのテストです」×3回

+ コールサイン(例:「こちらは〇〇市です」) + 下り4音チャイム

3 訓練時に使用する情報伝達手段

実事案において自動起動する全ての情報伝達手段(原則)

○全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291027\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291027_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁国民保護・防災部防災課  
国民保護室、国民保護運用室  
担当：野口補佐、長崎係長、蔭山事務官  
山田事務官、佐々木事務官、新堀事務官  
TEL:03-5253-7551 FAX:03-5253-7543

◆ **消防指令システム等の相互接続に関する研究会の開催（10月27日、消防庁）**

消防庁は、消防指令システムと消防救急無線に関し、異なる製造販売業者のシステム間での相互接続を可能とするための共通インターフェース仕様をとりまとめること等を目的として、「消防指令システム等の相互接続に関する研究会」を開催します。

1 背景・目的

本研究会は、消防指令システムと消防救急無線に関し、異なる製造販売業者のシステム間での相互接続を可能とするための共通インターフェース仕様をとりまとめることを目的とします。

また、今後、新たな技術の進展に伴い、現時点で想定困難な機能拡張等が行われることも想定し、消防指令システムや消防救急無線を整備する際に、仕様書の記載内容等の留意すべき事項についても整理します。

2 主な研究事項

- (1) 消防指令システムと消防救急無線との間の接続に関する共通インターフェース仕様
- (2) 消防指令システムや消防救急無線を整備する際に留意すべき事項

3 構成員

別紙のとおりです。（別紙省略）

4 スケジュール

平成29年11月2日（木）に第1回研究会を開催する予定です。

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291027\\_houdou\\_2.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291027_houdou_2.pdf)) に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室  
担当：阿部補佐・五通係長  
電話：03-5253-7526（直通）  
FAX：03-5253-7536

## 情報提供

### ◆ 第65回全国消防技術者会議の開催について

#### 消防庁消防研究センター

消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を公開の場で発表し参加される方々と討論を行う「第65回全国消防技術者会議」を下記のとおり開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 開催日：平成29年11月29日(水)、30日(木)
- 2 場所：ニッショーホール（日本消防会館）＜東京都港区虎ノ門2-9-16＞
- 3 定員：両日とも各650名（参加無料）
- 4 内容：

#### ■ 11月29日（水）10：00～16：55（受付開始・開場9：30）

##### 【午前の部】

○特別講演 「群集運動のメカニズムと対策 ～渋滞学の視点から～」西成 活裕 氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）

○表彰式 「平成29年度消防防災科学技術賞」

○展示発表（「平成29年度消防防災科学技術賞」表彰作品：消防防災機器等の開発・改良）

10件 一午後も実施ー

##### 【午後の部】

○研究発表セッション1（平成29年度消防防災科学技術賞表彰作品：消防防災科学に関する論文）10件

○研究発表セッション2（平成29年度消防防災科学技術賞表彰作品：原因調査に関する事例報告）9件

#### ■ 11月30日（木）9：00～16：05（受付開始・開場8：30）

##### 【午前の部】

○研究発表セッション3（一般発表）12件

○展示発表（一般発表）3件 一午後も実施ー

##### 【午後の部】＜第21回消防防災研究講演会＞ テーマ：「2016年糸魚川市大規模火災」

○研究発表1「火元付近の建物について」（消防研究センター）

「飛び火による被害」（消防研究センター）

「火災初期の出火地点付近の風について」（消防研究センター）

○研究発表2「新潟県糸魚川市大規模火災に学ぶ」（糸魚川市消防本部）

「糸魚川市大規模火災への市街地火災延焼シミュレーションの適用」（消防研究センター）

「糸魚川市大規模火災を踏まえた対応策」（消防庁総務課（併）消防・救急課）

※プログラムの詳細等は消防研究センターのホームページ（<http://nrifd.fdma.go.jp/>）をご覧ください。

<b>【問い合わせ先】</b> 消防庁消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL: 0422-44-8331 FAX: 0422-44-8440 E-mail: 65_gijutsusha@fri.go.jp
--

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail: [weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)